

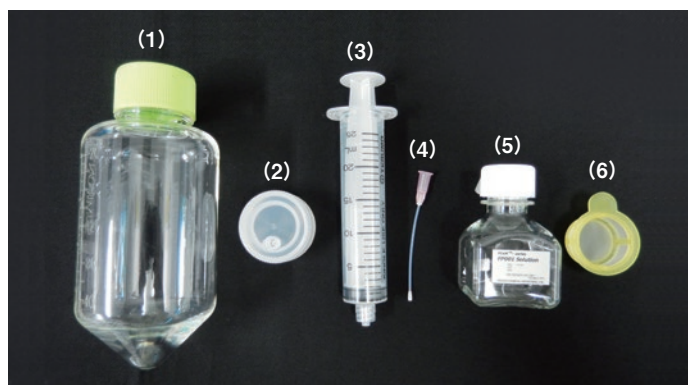
FCeM[®]-series Preparation Kit500

培地作製プロトコール

概要

本キットは、FP001ポリマーを任意の培地へ添加することで三次元培養培地を調製することができるキットです。本製品により三次元培養培地化した任意の培地は、一般的な培地と同程度の粘度でありながら、接着細胞をはじめとして各種細胞を用いて三次元浮遊培養を行うことができます。

キット構成



- (1) 225mLコニカルチューブ…1組
 - (2) アダプターキャップ…1個(オートクレーブ可^{*1})
 - (3) 20mLシリンジ…1本
 - (4) プラスチック針…1本
 - (5) FP001 Solution…17mL(保管温度2-30℃)
 - (6) 100µmセルストレーナー…1個
- *1 121℃、20分

本キット以外に必要な器具・設備

- クリーンベンチなどの無菌操作が可能な設備
- 電動ピペッター、ピペット(25mLまたは50mL)
- 三次元培養に使用したい任意の培地(500mLボトル入り)

培地種類	FP001 Solution (mL)	一次作製培地量 (mL)	総培地量 (mL)
DMEM-LG, DMEM-HG, EMEM DMEM-Ham's F12, Essential™ 8, mTeSR-1, StemFit	10	200	500
RPMI1640	13	200	500

注)・本製品はFP001と培地成分との相互作用により浮遊作用を発現させています。培地組成によっては浮遊作用が得られない場合があります。
・作製した培地は、凍結しますと浮遊性能を失います。

お問い合わせ下さい

培地作製条件や操作でご不明な点、培地作製を失敗してしまった場合、浮遊効果が得られない場合等、ご不明な事が御座いましたら、下記宛までお気軽にお問い合わせ下さい。

注意

- 本製品は研究用試薬です。試験研究用以外の目的に使用しないでください。
- 手袋、保護用メガネ等により適切な身体保護を施してください。
- 本製品と眼や皮膚との接触を避け、飲み込んだり、吸引したりしないでください。
- 発生した損害については、責任を負いかねますのでご了承願います。

培地の作製方法

- ① 使用したい任意の培地を室温～37℃に温めます。
- ② 225mLコニカルチューブ(1)に任意の培地を200 mL移します。
- ③ コニカルチューブ(1)のキャップ(緑)を外し、アダプターキャップ(2)を装着します。
- ④ プラスチック針(4)をシリンジ(3)へ装着します。
- ⑤ プラスチック針を装着したシリンジで所定量のFP001 Solution(5)を分取後、プラスチック針をシリンジから取り外します。
- ⑥ FP001 Solutionを充填したシリンジ⑤をアダプターキャップ装着のコニカルチューブ③へ接続し、培地作製ユニットを組上げます。
- ⑦ シリンジとコニカルチューブが緩まないようしっかりと固定し、**FP001 Solutionをできる限り速く一気に**コニカルチューブ内の培地へ添加します。(10mL添加で概ね5秒以内)
- ⑧ シリンジおよびアダプターキャップを外し、キャップ(緑)を装着します。全体が均一になるよう転倒混和します。
- ⑨ 300mLの培地が残っている500mLボトルの口にセルストレーナーを装着します。
- ⑩ ピペッター(推奨25～50mL)で⑧の溶液全量を⑨のボトルに移していきます。(この際、ピペッターは吐出スピードをF(急速)モードにし、セルストレーナーに垂直に押しつけるように溶液を加えます。)
- ⑪ セルストレーナーを取り外して密栓したあと、作製した三次元培養培地を全体が均一となるよう穏やかに転倒混和します。
- ⑫ 一晚冷蔵(2～8℃)保管し、血清・サプリ等の任意の成分を添加して三次元浮遊培養に御使用下さい。

